



ガーデンシティ 舞多聞
(神戸市垂水区)

広々とした庭、樹木の中に佇む家等、自然との共生を実現した、新しいタイプの郊外居住区。居住希望者と共にワークショップを繰り返し、まちづくりのルールからまちなみ計画等をつくりあげ、オリジナリティある街を生み出した。



彩都(国際文化公園都市)
(大阪府茨木市・箕面市)

上/大阪モノレール彩都線「彩都西駅」
下/彩都中心部に位置する「あさぎ里山公園」。噴水のほか芝生の広場や砂場、里山散策路等があり、自然に親しめる。→P.12

UR都市機構の役割は「場」の提供等の支援で、実際の運営は高橋先生がされているようなNPOや、住民の方々に任せていただくのが一番だと考えています。

高橋 ソフト面のサポートですね。まだ結婚した女性が嫁としか見られなかった時代に、当時の公団住宅に住む友人の家に遊びに行ったことがあるのですが、衛生的な台所やトイレ、それにカギ一つで女性が気軽に外出できる安心感のあるハードが提供されたことがわかりました。これが女性のライフスタイルを変え、社会参加のきっかけになったと思います。

特に千里はコミュニティの活動がとて多くて、子供会やPTA活動、ボランティア活動等、様々な活動が生まれました。それから長い時間が経った



我々に与えられた役割と
それに対する期待の大きさを
強く感じています。

今、以前はボランティアとして活動していた内容が仕事として成り立つレベルに成長し、女性が働く社会が形成されています。

福永 カギ一つの生活が女性のライフスタイルを変えた……。なるほど、そうかもしれません。

高橋 「アルビス旭ヶ丘団地」に少くった子育て支援センター「あつぷるはうす」はその延長線上にあり、男女共同参画が当たり前の社会になって欲しいという想いで立ち上げました。お母さんの子育てをサポートするだけで

はなく、親自身も育っていける場所でありたいと思っています。そのために、自分お母さんのセールのポイントを意識していただくための「1人1品」という持ち寄りを発表しています。それが将来の仕事や生涯の趣味につながれば、自分に誇りが持てると思うのです。

福永 素晴らしい活動ですね。我々もできる限り支援をしていきたいと思っています。ほかの団地でも「シャレール東豊中団地(大阪府豊中市)」の「どんぐり山を守り育てる会」の活動や、



アルビス旭ヶ丘団地「あつぷるはうす」(大阪府豊中市)

アルビス旭ヶ丘団地の集会所でNPO法人大阪国際文化協会が取り組む子育て支援事業。現在約500組の親子が登録し、親同士も活発に情報交換を行っている。母親自身も子連れスタッフとして活躍できるのが特徴。→P.10



シャレール東豊中団地「どんぐり山」(大阪府豊中市)

居住者による「どんぐり山を守り育てる会」が、団地のシンボルである「どんぐり山」と「きのこ山」の自然環境と、メタセコイヤ並木の街路景観を継承する取り組みを進めている。平成20年「緑の都市賞」を受賞。



アルビス緑丘団地「共同花壇」(大阪府池田市)

団地自治会の「花クラブ」が、地元の大阪府立園芸高校の学生と一緒に共同花壇のプランニングから植えつけまでを行った。現在もその連携を保ちながら花壇の運営をする。平成20年「おおさか優良緑化賞」を受賞。

「アルビス緑丘団地」の共同花壇での活動等、コミュニティ活動が活発になってきています。

ソフトの充実も念頭に置き
魅力あるニュータウンづくりを

福永 ニュータウン事業は元々住宅供給から始まっていますが、20年程前から複合多機能をキーワードに展開しています。「学ぶ、遊ぶ、憩う、住む」といった機能ですね。ただ、少子化で人口が減っていくなかで、ニュータウン事業はこれ以上新規着工はせず、仕掛かり分も平成25年度までに工事を終了し、平成30年度までに売り切ることとされています。限られた期間のなかで魅力ある街をつくっていききたいと思っています。

高橋 ガーデンシティ舞多聞で住民の方とお話した時に、「裏山がすべて庭」という方がいて、素敵だなと思いました。家主さんはきつと、子どもの頃の環境を再現したかったのでうね。

福永 家の中まで見せて頂きましたよね。普通、家の中まで見せて頂けませんよね。

高橋 誇らしいからでしょうね。イタリア語の「カーサベラ」という言葉がありますが、これは「美しい家」という意味で、私の好きな言葉です。私は子どもたちに自分の家を取りニューアールしながら「美しい家」を継承して欲しいと考えています。街の継承も同様で、精神としてずっと繋がっていくものだと思います。まちづくりを担うのは人ですから、UR都市機構には街の雰囲気や精神を伝えていく人たちの手も借りながら、継承していく街のハードをつくってほしいと思います。

高橋 「彩都(大阪府茨木市・箕面市)」は2年程前に「住みたい街ナンバーワン」に選ばれたことがありますね。また、神戸の「ガーデンシティ舞多聞(神戸市垂水区)」を見学させてもらった時には、その活気に感激しました。

福永 彩都は、ライフサイエンスの集積地にするといったコンセプトのもとに生まれた街です。

また、ガーデンシティ舞多聞には、神戸芸術工科大学の齊木宗人学長と連携して進めているまちづくり「みつつけプロジェクト」があります。建築協定等の内容決定や運営、公園づくりといったまちづくりに、入居者自らが参加したプロジェクトです。UR都市機構はワークショップを開催する等、コミュニティ形成のお手伝いをしています。

URとは「アーバン・ルネッサンス」の略ですね。ルネッサンスで日本のアーバンスタイルや住み方を変えてくれる機構だと捉えています。その役割に、今後も期待しています。

福永 これからも国民に必要とされ、愛されるUR都市機構でありたいと思っておりますので、頂戴したご意見を生かしながまちづくりを頑張っていきたいと思っております。ご支援ご指導よろしく願いたします。